

文京区立指ヶ谷小学校	6年1組
<p>当時のクラスの思い出</p> <p>指ヶ谷小学校 100周年の年でした。そのため、ただでさえ忙しい6年生でしたが、運動会・魚沼移動教室・陸上記録会・けやきの森フェスタの劇・100周年記念式典・・・最後に卒業式。1年間、何かの行事に取り組んでいました。先生にとっては、初めての単学級の6年生担任だったので、忙しくて過労死寸前でした。(笑)</p> <p>しかし、6年1組は見事な団結力を発揮し、全ての行事に全力で取り組んでいました。特にけやきの森フェスタの劇「魔法を捨てたマジョリン」は思い出に残っています。魔法を使って、木に実ったリンゴ落とす場面や、魔女たちを歌の力で倒すシーンなど、今でも鮮明に覚えています。1クラスでの劇なので、一人一人のセリフや出番も多い中、音響や照明、舞台装置など裏方の全ても自分たちで行いました。そのため、本番当日、先生は一人の観客としてみんなの劇を楽しんでいるだけでした。保護者鑑賞日の劇が終わった時、「もう、この劇が見られないのか。」とさみしい気持ちになったことを覚えています。一人一人の個性が豊かで、喜怒哀楽の感情を素直に表現してくれる、先生にとって心に残る6年生でした。</p>	
<p>先生の現在の近況報告など</p> <p>北区の小学校で6年生を担当しています。先生になって17年目になりました。今の学校は各学年3クラス以上、全部で19クラスありますので、指ヶ谷小学校よりかなり子供が多いです。</p> <p>私生活では、息子が小学校5年生になりました。みんなを担当していた時は、3歳くらいだったので、ずいぶん大きくなりました。サッカーが大好きで元気な少年です。先生も息子と同じチームでサッカーの監督をしています。平日は学校の子供たちに勉強を、土日はサッカークラブの子供たちにサッカーを教えていることになりましたね。毎日、忙しいですが、好きなことに取り組んでいることは幸せなのだろうと思います。</p>	
<p>卒業生へのお祝いの言葉</p> <p>成人おめでとうございます。</p> <p>あの時12歳だった6年1組の子たちが20歳ですか。先生の中では、今でも当時の12歳だったみんなの顔が浮かびますが、今このメッセージを見てくれているみんなは、きっとすごく成長した顔つきになっているのでしょうね。そんなみんなを見てみたいな～という気持ちでいます。今、大学や専門学校で学んでいる人、すでに社会人として働いている人、それぞれ立場は違うのかもしれませんが、元気に頑張っていてくれることを願っています。</p> <p>先生は20歳のころ、大学生でした。先生になるために勉強しながら、部活にも励んでいました。その時に、家族、先生方、友達、先輩、後輩、たくさんの人に支えられて、自分があることに気が付きました。「人とのつながりの大切さ」、先生は今もそのことを忘れないよう、心に刻んでいます。みんなもこの20歳という節目に、ぜひ、人とのつながりに目を向けてみてください。みなさんが20年生きてきた中で築いてきた関係は、今後の人生をさらに良いものにしてくれることと思います。いつか、みんなとお酒を飲みながら、みんなの今の様子を聞いたり、昔の思い出話をしたりすることができたらいいですね。そんな日を夢見ながら、先生も頑張ります。</p> <p>最後にもう一度言います。平成27年度、指ヶ谷小学校、卒業生のみなさん、成人、おめでとう！！</p>	